

山陰
鳥取県

大山

Daisen

ブナの森

「水物語」

を巡る旅

大山の旅
Travel Guide

ブナの森から始まる「水物語」

母なる樹、ブナ。母なる森、ブナの森……。降り注ぐ雨や雪を受けとめ、ゆっくりと地面に浸透させることで、枯れることのない清き水を里にもたらしめます。森と大地に磨かれた水は、大自然の営みの中から生まれた「生命の水」。山・里・海の食材はもちろん、自然景観、観光資源など「大山の恵み」すべてを、大山の水が育んでいます。

感動とは、自然の、そしてその一部である人間の、生命の本質に触れること。大山のブナの森……。そこから始まる「水物語」を巡っていけば、さまざまな生命との出会いや発見の中から、きっと初めての自分を知り、大きな感動があふれる旅となるに違いありません。



むきぱんだが
大山をご案内
しゅっ!!



むきぱんだ
鳥取県大山町の弥生式住居跡「妻木晩田(むきぱんだ)遺跡」に由来する名前の公式マスコットキャラクター。「♪むいても、むいても、むきぱんだ〜♪」がキャッチフレーズ

国立公園 大山

大山(だいせん)は、NHK「日本名峰ランキング」で、富士山、槍ヶ岳に続き第3位。標高1729m、別名「伯耆富士(ほうきふじ)」とも呼ばれています。昭和11(1936)年に、国立公園に指定され、その後、蒜山、隠岐の島、島根半島、三瓶山が追加指定されて「大山隠岐国立公園」となりました。



旅の始まりは 雨のひとしずく



ブナと水との、 深いお話

森に雨が降ると、雨粒は大きく広がったブナの枝先の、丸みを帯び少しへこんだ形の葉に落ち、葉の付け根から小枝に伝わり、幹に集まって、滝のような“樹幹流”をつくります。そうして流れ落ちた水は、驚異的な保水力を誇る根元の厚い腐葉土層に吸い込まれます。雨水を効率的に集め、そしてたっぷり蓄えるシステムを持っているブナの木。ブナの森が「緑のダム」と呼ばれる所以です。

大山は多様な生態系を残す、面白い山。「ダイセン」の名がつく生物も数多く、そんな貴重な動植物との出会いを求めて多くの人たちが訪れています。



ダイセンニシキマイマイ



ダイセンキスミレ



ダイセンヒョウタンボク



ダイセンシジミ



ダイセンミツバツツジ



ダイセンクワガタ

- 大山山麓には2,800ヘクタールにも及ぶ西日本最大級のブナの原生林が広がっています。
- 樹齢100年のブナの木についている葉っぱは20万枚から30万枚。それが毎年落ちて腐葉土になり、スポンジ効果によって1時間に約300mmもの雨を吸収します。
- 樹齢200年のブナの木が蓄える水の量は、1本あたり年間8トンといわれています。

神秘的生物

オオサンショウウオ

特別天然記念物に指定され「生きる化石」と呼ばれるオオサンショウウオが生息する、大山山麓の河川。この希少動物もゆたかな大山の清らかな水あってこそ。

撮影 / 動物写真家 福田幸広氏



大山が多様な生態系を残している理由は？

- 1000万年前、かなりの部分が海の中にあった中国地方。その頃、島だった大山にはそれ以前からの生物が集まり、生き延びていました。
- その後、地球の温暖化が進んで陸地が今になると、温暖化に適応できない中国地方の生物たちは、日本海にはばまれて北に逃げられず、高冷地である大山を逃げ場として集まり、こうして今、大山には多様な生態系が残されることになったと言われています。



神仏おわします山… 霊峰大山への篤い信仰心が 広大なブナの森を残した

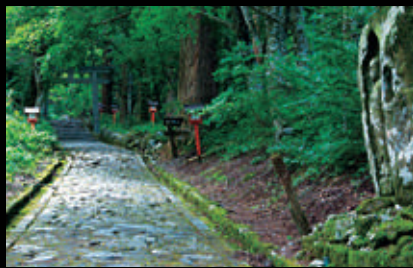
古くから山そのものを神として祀り、全山を信仰の対象としていた大山では、近代まで一般の登山は制限され、樹木の伐採も一切禁止されていました。昭和11(1936)年に国立公園として指定されて、その自然歴史が今日まで保全されることとなりました。

大山夏山開き祭・前夜祭 たいまつ行列



■大神山神社奥宮(国重要文化財)

杉の大木に囲まれた静寂の中にたたずむ荘厳な社。両翼が50mある社殿は国内最大級の権現造り。神仏習合の時代の様式で、かつては大智明権現社と呼ばれ、大山信仰の中心を担って来ました。



■自然石の参道

大山寺から大神山神社奥宮へと至る参道は約700m。自然石を敷きつめた道としては国内最長です。



■大山寺本堂(国登録有形文化財)

本堂は天台宗の古刹で、昭和3(1928)年一度焼失、同26年に再建されています。もとの大日堂で、明治36年の大山寺号復活に伴い、本堂と定められました。

大山、開山より1300年

古来より山岳信仰が盛んで、修験道の行場として熊野、吉野、金峯山、富士山と並び称されていた大山。山伏たちの修験の山であった大山に、養老2(718)年、金蓮上人が地藏菩薩を祀る草庵を結んだことが大山寺の始まりとされています。平安時代には天台宗の寺院として確立し、鎌倉時代から室町時代にかけて大山寺は隆盛を極めました。100を超える僧坊と3000人以上の僧兵をかかえ、比叡山や吉野山、高野山と肩を並べていたと言われています。江戸時代になると伯耆国領主中村一忠の家老横田内膳に寺領を侵されましたが、豪門僧正が山内の子院をまとめて抵抗し、江戸幕府に三千石の寺領を認めさせました。

●日本遺産認定 平成28(2016)年4月25日 「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」

伯耆角磐山大山寺絵図

寛政9(1797)年に鳥取藩お抱えの絵師、片山楊谷(かたやまようこく)が描いた





大神山神社奥宮幣殿

●大神山神社奥宮の幣殿内部

白檀塗りの鮮やかな柱や壁は国内最大級、天井の彩色画も見事です。



●杉木立の中に佇む大神山神社奥宮神門

明治の寺号廃絶による解体の際に残された西楽院の表門。県指定保護文化財となっています。



大山寺阿弥陀堂

篤い信仰は今もなお

平安時代に始まった大山寺の祈願儀式で、古くから「大山さん」と呼ばれ親しまれてきた「御幸(みゆき)」。昔は牛馬市も開催され、全国各地から大勢の人々が詰めかけました。法要の後、1200年前から燃え続ける「不滅の法灯」を先頭に、厄年の男性らが担ぐ神輿と稚児や僧兵、平安貴族など、古の装束をまとった人々が大山寺参道を練り歩く様は時代絵巻そのもの。今も3年に1度、開催されます。



御幸



木造阿弥陀如来及両脇侍像

■大山寺阿弥陀堂

室町時代、天文21(1552)年に再建された大山に現存する最も古い建物。中には、大仏師良圓の作とされる金色に輝く阿弥陀如来と観音と勢至の両菩薩を安置する。お堂も仏像も国の重要文化財。毎月18日に扉が開けられ仏像を拝観できます。

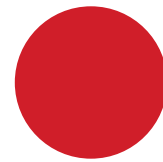
はいぶつきしゃく 廃仏毀釈と大山寺の復興

明治時代となり、廃仏毀釈により大山寺の号が廃され、大山寺は大きく衰退。本殿であった大智明権現社は、大己貴神(大国主命)を主祭神として大神山神社奥宮と改められました。

明治36(1903)年に大山寺号の復活が許され、かつての大日堂を本堂とする大山寺が復興。現在、本堂の他、阿弥陀堂や寺宝を収蔵する霊宝閣があり、平成28年にはかつての境内地が、国の史跡大山寺旧境内として指定されました。



採灯護摩法要



日本遺産

地蔵信仰が育んだ
日本最大の牛馬市



11世紀末、大山の地蔵菩薩は万物を救うと信じられ、地蔵菩薩を祀る大山寺の牛馬の守り札を求めて大山に牛馬が集まるようになり、やがてそれが牛馬市「大山博労座」になりました。明治中頃の最盛期には年間1万頭を超す牛馬が集まる国内最大の牛馬市となり、市は昭和12(1937)年まで続きました。



昭和6(1931)年大山牛馬市

参拝の手引き

■大神山神社奥宮(国重要文化財)

TEL. 0859-52-2507(奥宮)
料金/境内自由 ※幣殿は志納金が必要
※冬期積雪で通行困難

■大山寺本堂(国登録有形文化財)

TEL.0859-52-2158
開/9:00~16:00 4月1日~11月30日
料金/参拝志納金 大人…300円 小人…200円
※宝物館/霊宝閣/入館料含む

■大山寺阿弥陀堂(国重要文化財)

TEL.0859-52-2158
開/境内自由
※堂内拝観は4月~11月の毎月18日
料金/境内自由 ※堂内拝観は1名200円
※座禅は要事前相談

大山を体感する アクティビティ



日本海から山頂まで、バラエティに富んだ地形に、さまざまな自然の営みが見られる大山。そこに仕込まれた「水物語」の文脈を読み解きながら、身体をうごかし、汗をかき、五感をフル稼働すれば、きっと素晴らしいなにかに出会えるはずです。

- ◆六合目からは眼下に米子市街、弓ヶ浜半島、島根半島、視界がよいときは遥かに隠岐の島が。
- ◆八合目からはダイセンキャラボクの純林が一面に。

◆山頂から剣ヶ峰を望む
※縦走は禁止です



■ Climbing

登山

自然ゆたかな大山の魅力を存分に体感できるアクティビティと言えば、やはり登山でしょう。夏山登山コースとユートピアコース、いずれも日帰りでの山行が可能でありながら、本格的な登山の醍醐味を楽しむことができます。山頂からの雄大な眺望はもちろん、雲や光が織りなす風景、登山途中での貴重な野鳥や昆虫、高山植物などとの出会いも楽しみです。

◆六合目付近から望む秋の大山北壁～三鈷峰



◆五合目まではブナの林が続きます。

夏山登山コース

標高差約950m、距離にして往復約6kmの登山道。道は整備されており、子供や登山初心者にもおすすめの大山大山登山のメインコースです。五合目あたりまでは、ブナやミスナラ、ケヤキなどの林の中を進み、六合目付近から一気に視界が開けます。八合目までは急登ですが、山頂までは国の特別天然記念物ダイセンキャラボク群落を抜けて、緩やかな木道が続きます。

ナンゴククガイソウとシモツケソウ▶

ドラマティック大山

新緑の初夏、緑陰深い夏、そして紅葉シーズンと、大山登山では四季を通じてさまざまな“ドラマ”が堪能できます。



ユートピアコース

細い尾根沿いを歩く箇所があるなど、夏山登山道にくらべると難所が多く、登山上級者におすすめのコース。目の前に立ちはだかる北壁の展望と、7月の下旬から8月の中旬にかけて避難小屋付近一面に広がる“お花畑”はまさに‘ユートピア’そのもの！





特産品販売



●大山の恵み「お醤油シリーズ」
 大山町産大豆を使用し、麹を作り2年半の長期熟成により完成した商品です。素材を引き立てる「生醤油」は料理の仕上げに最適です。



●香取村 のむヨーグルト
 標高400mにあるミルクプラントで、新鮮な生乳を加工。昔ながらの製法にこだわり、2日間かけて風味豊かで濃厚な、自然の味に仕上げられています。



●山陰特産「板わかめ」
 板状に干して乾燥させ、磯の香りとパリッととした食感がたまらないそのまま食べられる乾燥わかめです。



●牛皮饅頭「博労唄」
 開山1300年記念商品として大山牛馬市の歴史が書かれた一品です。道の駅大山恵みの里お菓子部門売上No.1商品です。

素材に
 こだわりの
 地産に
 こだわりの
 こだわり！



2F/ 地魚料理 恵比須



地元の新鮮な魚を使った刺身や煮魚、焼き魚などを主菜とした定食がいろいろ。特に一番人気の「海鮮丼」は、どんぶりいっぱい盛られた、日替わりの7種類のネタにそのヒミツが。またその日の水揚げによっては、数量限定のスペシャルメニューが登場すること。天気の良い日には、店内から窓越しにきれいな海を見ながらの食事が楽しめます。

●TEL.0859-54-5522 ●営業時間/平日11:00~14:00 土日祝11:00~14:30 ●休日/火曜日



●大山宝牛ステーキ丼
 伯耆国「大山開山1300年祭」で大山に来られるお客様をおもてなしするため、大山町商工会と大山旅館組合が連携してステーキ丼を開発、大山寺周辺の10店舗で提供されています(令和元年7月現在)。「大山宝牛」は、大山山麓一帯で育った和牛を対象とした大山町の登録商標で、「大山宝牛を使用したステーキ丼」ということ以外は、提供する各店舗の特色が生かされた内容となっています。店舗によっては事前予約が必要な場合もあります。



新
 旧
 そ
 ろ
 え
 て
 と
 り
 の
 恵
 み
 !!



●大山おこわ
 祭や祝い事などのときの食べ物として受け継がれてきた伝統料理。春は山菜、秋は栗やきのこを餅米に入れて蒸し上げたご飯です。

●大山そば
 地元産そば粉を使用。実を皮ごとひくので色が黒くて香りやコシが強いのが特徴。お店によって具材や食べ方はいろいろです。



大山寺の名物料理

大山寺周辺には、郷土色ゆたかな味覚が楽しめる旅館や食事処がいろいろ。



大山参道市場

大山参道市場

2018年5月に大山寺の参道沿いにオープン。大山一円の特産品を取りそろえたショップには、焼きたてパンやコーヒーが楽しめる「ベーカリーカフェSANDO」を併設。パンには大山山麓の小麦を使用。パンはテイクアウトもできるので登山前に立ち寄るのもおすすめ。大山寺への参詣や、大山登山の行き帰りに、ぜひお立ち寄りください。

●TEL.0859-52-6020
 ●営業時間/10:00~18:00
 ※5月~11月の土日祝は7:00~18:00



春

夏

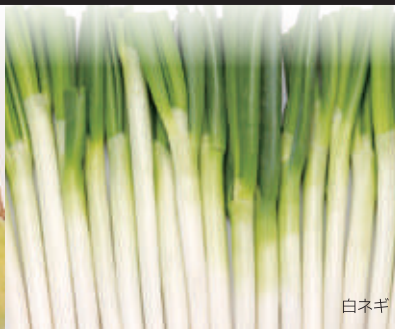
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
イベント & 祭		<ul style="list-style-type: none"> ● 大山春の一斉清掃 (第3日曜日)  <p>SEA TO SUMMIT</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住雲寺 藤まつり (5/3~5) ● 大山町 名和マラソンフェスタ ● 道の駅 大山恵みの里 誕生祭 ● 皆生・大山 SEA TO SUMMIT ● 大山寺御幸 (5/24・3年に1度) ● 大山新茶まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大山夏山開き祭 (第1土・日曜日)  <p>たいまつ行列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大山町納涼花火大会 (御来屋) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 甲川 渓流まつり ● お盆の大献灯  
			<p>大山る~ぷバス</p> <p>GW 週末運行</p>		週末運行	夏休み
大山 自然 麓	<p>豊房の桜並木</p>   <p>ギフチョウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● タムシバ ● ミヤマカタバミ ● ダイセンキスミレ ● ダイセンヒョウタンボク ● ウグイス、キビタキ、オオルリ(4月~)、アカショウビン、ホトトギス(5月~) ● ギフチョウ ● 報恩峠桜並木 ● 名和神社桜並木 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブナ 新緑 ● ダイセンミツバツツジ ● スミレサイシン ● ヤマザクラ ● ダイセンキスミレ ● ダイセンヒョウタンボク ● 住雲寺 六尺藤 	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイセンクワガタ ● ザンカヨウ ● オオルリ ● キマダラルリツバメ(蝶) ● ゼフィルス(シジミチョウ) ● ハマナス 	<ul style="list-style-type: none"> ● ナンゴククガイソウ ● シモツケソウ ● オオバギボウシ ● ダイセンオトギリ ● ハマナス ● ジョウサンミドリシジミ 	
味覚	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロッコリー ● ふきのとう(~4月中旬)、ぜんまい、こごみ(4月)、わらび、滝菜(4月~6月中旬)  <p>ばあずごろし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サザエ ● 板わかめ(新物) ● サワラ   <p>岩牡蠣「夏輝」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● タカメロン ● サザエ 	<ul style="list-style-type: none"> ● スイカ ● タカメロン・アムスメロン ● ブルーベリー ● サザエ ● 真アジ(旬)※年中獲れます ● 岩牡蠣「夏輝」 <p>サザエ禁漁期間</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ● 新甘泉(梨) ● ハマナス ● ジョウサンミドリシジミ ● 二十世紀梨 ● 白イカ(旬)   	



秋

冬

9月	10月	11月	12月	1月	2月
<p>●秋のたいまつ行列</p>  <p>●はまなすサイクリング</p>  <p>はまなすサイクリング</p> <p>●大山秋色週間 (10/20~11/5)</p> <p>●秋のご縁日(10/24) 稚児行列・護摩法要</p> <p>●大山秋の一斉清掃 (第3日曜日)</p> <p>紅葉シーズン</p> <p>週末運行</p>	<p>●道の駅 大山恵みの里 収穫祭</p> <p>●ホーリートレイル</p>  <p>●だいせん ホワイトリゾート オープニング セレモニー(12/下旬)</p> <p>●ウインターシーズン (スキー・スノーボード) 3月下旬まで</p> <p>◆大山駐車場が春まで有料に ◆大山環状道路 榎水~奥大山は春まで通行止</p>	<p>●初冠雪</p> <p>●ウリハダカエデ赤色に</p> <p>●ブナ オレンジ色に</p> <p>●ヤマブドウ赤色に</p> <p>●ナメコ</p> <p>●アトリ、ツグミ、シロハラ、ベニヒワ、ベニマシコ、ウソ、ミヤマホウジロ、マヒワ、アオジ、ルリビタキが10~4月に見られる</p> <p>●雪の上に、テン、キツネ、ノウサギの足跡が見られる</p> <p>●シジュウカラ、ゴジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、アカゲラ、アオゲラ、ユゲラ(きつつき)は年中見られる</p>	<p>●タンナトリカブト</p> <p>●ツリフネソウ</p> <p>●マツムシソウ</p> <p>●ナナカマド 実が赤色に</p> <p>●そばの花</p> <p>●ブロッコリー</p> <p>●アールスメロン(マスクメロン)</p> <p>●二十世紀梨 ●秋甘泉(梨)</p> <p>●白ネギ(旬) ※年中穫れます</p> <p>●つがる(りんご)</p> <p>●秋映(りんご)</p> <p>●ふじ(りんご)</p> <p>●ジョナゴールド(りんご)</p> <p>●ウスバハギ</p> <p>●赤ガレイ</p> <p>●サワラ</p>	<p>●ハマチ</p> <p>●もんば(海藻)</p>	
<p>●タンナトリカブト</p> <p>●ツリフネソウ</p> <p>●マツムシソウ</p> <p>●ナナカマド 実が赤色に</p> <p>●そばの花</p> <p>●アールスメロン</p> <p>●二十世紀梨 ●秋甘泉(梨)</p> <p>●つがる(りんご)</p> <p>●ジョナゴールド</p>	<p>●ナメコ</p> <p>●アトリ、ツグミ、シロハラ、ベニヒワ、ベニマシコ、ウソ、ミヤマホウジロ、マヒワ、アオジ、ルリビタキが10~4月に見られる</p> <p>●ブロッコリー</p> <p>●アールスメロン(マスクメロン)</p> <p>●二十世紀梨 ●秋甘泉(梨)</p> <p>●白ネギ(旬) ※年中穫れます</p> <p>●つがる(りんご)</p> <p>●秋映(りんご)</p> <p>●ふじ(りんご)</p> <p>●ジョナゴールド(りんご)</p> <p>●ウスバハギ</p> <p>●赤ガレイ</p> <p>●サワラ</p>	<p>●初冠雪</p> <p>●ウリハダカエデ赤色に</p> <p>●ブナ オレンジ色に</p> <p>●ヤマブドウ赤色に</p> <p>●ナメコ</p> <p>●アトリ、ツグミ、シロハラ、ベニヒワ、ベニマシコ、ウソ、ミヤマホウジロ、マヒワ、アオジ、ルリビタキが10~4月に見られる</p> <p>●雪の上に、テン、キツネ、ノウサギの足跡が見られる</p> <p>●シジュウカラ、ゴジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、アカゲラ、アオゲラ、ユゲラ(きつつき)は年中見られる</p>	<p>●だいせん ホワイトリゾート オープニング セレモニー(12/下旬)</p> <p>●ウインターシーズン (スキー・スノーボード) 3月下旬まで</p> <p>◆大山駐車場が春まで有料に ◆大山環状道路 榎水~奥大山は春まで通行止</p>	<p>●ハマチ</p> <p>●もんば(海藻)</p>	



5月 大山町名和マラソンフェスタ

北に日本海、南に大山の景色を楽しみながら走れます。ハーフマラソンや10キロ、ウォーキングなど体力に合わせて16部門。仮装もできます。

- TEL.0859-53-3110 (名和マラソンフェスタ事務局)
- 参加料/要問い合わせ



大山寺 御幸〔御輿行幸〕

平安時代に始まったとされる大山寺の祈願法要で、古の装束をまとった男や神輿、稚児など約100人が練り歩き、美しい時代絵巻が再現されます。3年に1度の開催です。

- TEL.0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 次回開催/令和2年5月24日



皆生・大山 SEA TO SUMMIT

カヤック・自転車・ハイクの3つのアクティビティで皆生の海から大山山頂をめざし、自然の循環を体験する環境スポーツイベントです。

- TEL.06-6531-5524 (皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会事務局:株式会社モンベル)
- ※詳細はお問い合わせ下さい。

6月 大山夏山開き祭

大山の夏山の安泰を祈念する祭。前夜祭では2000本のたいまつ行列で参道が炎の河となります。翌日は山頂祭があり山頂で安全祈願が行われます。

- TEL. 0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 開催/6月第1土日(土)19:30~たいまつ行列(日)10:00~山頂祭
- たいまつ行列は大神山神社奥宮から博労座へ下ります。
- 駐車場/810台無料



8月 甲川溪流まつり

日本百名谷の溪流、甲川を探検したり、せき止めた川で魚をつかみ獲り。獲れた魚はその場でバーベキューに。

- TEL. 0859-53-3110 (大山町観光課)
- 場所/甲川うぐいす橋下
- 参加料/大人800円 高校生以下200円 (小学生未満無料) ※要事前申込



お盆の大献灯

お盆の夜、大山寺の参道や境内を、和傘や絵灯籠、ローソクの灯りが幻想的で華やかな光で彩ります。石畳の参道を浴衣姿で歩けば日本情緒を感じられます。

- TEL. 0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 参加料/有料
- 駐車場/810台無料



10月 大山秋色週間

大山は紅葉の名所で、10月下旬から11月上旬が例年見ごろです。主な見どころは豪円山、金門、大山寺橋、川床、樹水、鐘掛峠など。錦の色に染まった光景に、思わず感嘆の声があがります。

- TEL. 0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 開催/10月下旬~11月上旬



大山寺 秋のご縁日

毎年10月24日に行われる大山寺の祭りで、時代衣装を着た稚児行列、探灯大護摩法要、大山僧兵太鼓の奉納などがあります。

- TEL.0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 開催/10月24日
- 料金/無料(稚児行列参加の場合 参加料2,000円) ※要事前申し込み



大山 季節の歳時記

いつも大山と共にある人々の営み。

12月 だいせんホワイトリゾート オープニングセレモニー



スキーやスノーボードが楽しめるだいせんホワイトリゾートの開幕イベントです。セレモニー参加で当日限定のリフト券がもらえます。祝い餅つきや抽選会もあります。

- TEL.0859-52-2502 (大山町観光案内所)
- 開催/12月下旬

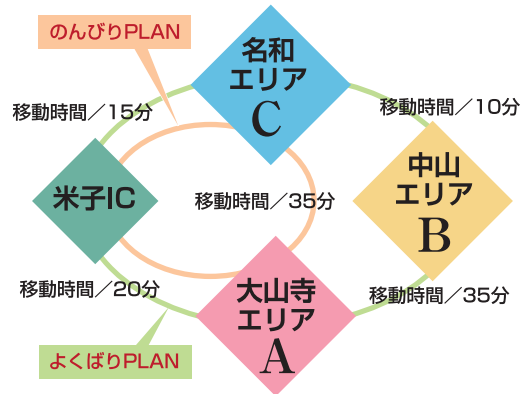


大山周遊PLAN



季節や天候、所要時間にあわせた「大山の楽しみ方」、ここが「ツボ」！

お天気が良ければしっかり野外でお楽しみ！
あいにくのお天気なら、屋内でのんびりと…。
木々の芽吹き、新緑や緑陰、そして紅葉へと移ろう、
その時々光や風をめいっぱい感じる「大山の旅」を
ご提案します。
《クルマでの移動プランとなります》



大山寺から名和へ
2つの観光エリアを巡る

のんびり周遊PLAN

半日～1日

A — C

さらに中山まで足を伸ばして
古民家でまったり、寛ぐ

よくばり周遊PLAN

1日

A — B — C

大山寺エリア

大山北壁の山ふところに抱かれ、永く山岳信仰の聖地としてあった深い趣を感じるエリアです。歴史ある寺社と木立が織りなす、凜とした空気の中を歩き、くつろぎのスポットでゆったり過ごす…、そんなメリハリが心地よい「大山寺エリア」です。



モデルコース(すべて徒歩での移動)

- ①大山ナショナルパークセンター→25分→②大山寺阿弥陀堂
- 15分→③大山寺本堂(宝牛)→15分→④大神山神社奥宮
- 20分→⑤大山参道市場→1分→⑥豪円湯院→10分→①



大山寺から川床～香取へ

屏風のごとく立ちはだかる北壁を目の前に望む、豪円山～スキー場エリア。大山から流れ出した清流に心洗われる「川床」。そして酪農の村「香取」へ、名和あるいは中山へと向かう途中にも、遊びどころがいっぱい！



名和エリア

日本海を一望するここでの目当ては、何と言っても美味しい食べ物。御来屋漁港の「お魚センター」では、朝獲れの魚介類を味わったり買物ができます。「道の駅 大山恵みの里」では、旬の農産物やお土産の購入がオススメ。また、歴史ある名和神社にもぜひご参拝を。



モデルコース(すべてクルマでの移動)

- 名和IC→3分→
- ①お魚センターみくりや・地魚料理恵比須→1分→
- ②後醍醐天皇御腰掛岩→3分→
- ③名和神社→2分→
- ④大山恵みの里→1分→名和IC



中山エリア

大山町の「隠れた魅力」がいっぱいの中山エリア。古民家カフェ「まぶや」に立ち寄って、なつかしくもモダンな空間に身を置きながら、アート談義。そして日帰り温泉「ナスパル」で疲れを癒します。



モデルコース(すべてクルマでの移動)

- 中山IC→1分→
- ①なかやま温泉ナスパル→3分→
- ②コミュニティスペースまぶや→2分→
- ③木の根神社・木の根まんじゅう→7分→名和IC





マイカーで

- 大阪 中国自動車道 落合JCT経由 米子【約3時間15分】
- 岡山 中国自動車道 落合JCT経由 米子【約1時間50分】
- 広島 中国自動車道三次東JCT経由 米子【約2時間50分】
- 下関 中国自動車道三次東JCT経由 米子【約5時間】
- 高知 中国自動車道 落合JCT経由 米子【約3時間30分】
- 出雲 山陰道 米子【約1時間5分】
- 米子I.C. 大山観光道路経由 大山寺【約20分】

鉄道で

- 東京 新幹線(のぞみ) / 約3時間20分 岡山 伯備線(やくも) / 約2時間10分 米子【約5時間45分】
- 東京 寝台特急サンライズ出雲 米子【約11時間】
- 新大阪 新幹線(のぞみ) / 約45分 岡山 伯備線(やくも) / 約2時間10分 米子【約3時間】
- 岡山 伯備線(やくも) 米子【約2時間10分】
- 広島 新幹線(のぞみ) / 約35分 岡山 伯備線(やくも) / 約2時間10分 米子【約2時間50分】
- 博多 新幹線(のぞみ) / 約1時間40分 岡山 伯備線(やくも) / 約2時間10分 米子【約4時間】
- ◆JR米子駅 ← バス → 大山寺【約55分】

飛行機で

- 東京 米子【約1時間25分】
- ソウル(仁川) 米子【約1時間40分】
- 香港 米子【約3時間5分】
- ◆米子鬼太郎空港 ← バス → JR米子駅【約30分】

高速バスで

- 東京 米子【約10時間30分】
- 大阪 米子【約3時間30分】
- 広島 米子【約3時間20分】
- 福岡 米子【約8時間】

船で

- とんへ 東海(韓国) DBSクルーズフェリー 境港【約13時間】
- 日本交通 米子営業所 / TEL.0859-33-9111
- 日ノ丸自動車 米子支店 / TEL.0859-32-2121

大山周辺の観光地



出雲大社 古事記にも登場する、神話の国出雲の中心となる神社。縁結びの神様として知られる大國主命を祭ります。【国宝】



水木しげるロード 漫画家水木しげる氏の故郷・境港市にある、駅前から約800mの通りには177体もの妖怪ブロンズ像が。



松江城 江戸時代(1611年)の築城。日本に現存する12天守閣の1つ。城の周りには武家屋敷が残り、堀川を遊覧船が回ります。【国宝】



鳥取砂丘 東西16km・南北2kmの日本最大級の砂丘。風が作る砂の芸術「風紋」を見ることが出来ます。



大山へは
米子鬼太郎空港
JR米子駅
米子I.C.
が便利です!

大山町観光課

〒689-3332 鳥取県西伯郡大山町末長500
TEL.0859-53-3110 (平日のみ)
FAX.0859-53-3163

大山町観光案内所(コモレビト1F)

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山45-5
TEL.0859-52-2502
FAX.0859-52-2770

大山町の観光情報はここから



大山の旅行・観光・ツアー案内
鳥取大山観光ガイド

